

早稲田大学 政治経済学部 数学 講評

〔総合分析〕

出題形式	記述式
試験時間	60分
特徴・その他	

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
問1	対数方程式，図形と方程式	(2) x と y の関係式から導くことも出来る．解説では微分を用いた．	標準
問2	ベクトルの分点公式と絶対値	内積を用いて平面に対しての法線ベクトルを決定する．(3)があるので成分による表示は取り入れないほうが良い．	標準
問3	三角関数のとる値の変化	合成公式により $\sin(2\theta + \alpha)$ でまとめる．	標準
問4	等差数列と和の最大値	定番ともいえる問題．	標準

〔総合コメント〕

昨年の問題よりもさらに平易の難易度であるが，問題全体のバランスが取れていて4題出題としてはでき不出来で得点に差が付きやすい．高得点の受験生も大いに違いない．